2017/7/17-7/23

デボーションガイド

「ユースマナ」

詩篇 27:4

　私は一つのことを主に願った。私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。

2017/7/17(月)

ヨハネ 4:27-42

イエス様と出会ったサマリヤの女性は、水がめを置いて町へ行き、人々にイエス様を伝えました。もともと人目を避けていた人でしたが、イエス様を知った驚きと感動で、人の中に飛び込んで行ったのでした。
食料調達から戻ってきた弟子たちに、イエス様は天の父のみこころを行い、みわざを成し遂げることが自分の食物であると言いました。もちろんイエス様もご飯を食べましたが、イエス様の内側を満たしていたのは、食物ではなかったのです。
35 節から 38 節には、魂の収穫つまり人の救いのことが書かれています。種とは福音で、刈り取るとは人が救われることを指します。イエス様の目には、人々は色づいて刈り入れるばかりに見えていました。私たちの目には、まだ救われていない友達や家族はどう見えているでしょうか？

2017/7/18(火)

ヨハネ 4:43-54

サマリヤを後にして、イエス様はガリラヤのカナに行ったよ。そこでカペナウムにいる王室の役人が死にかけている、息子を治して下さるようにお願いをしたんだね。役人は「下ってきて下さい」とイエス様が指摘したようにしるしを見ないと信じない信仰だったけど、イエス様が「あなたの息子は直っています」と言った時、その言葉を信じたよ。そして本当に息子は、イエス様が直っていると言った時間に！直っていたんだ！！凄いね！！
私達も、まだ見ていないけど、神様がして下さることを信じよう！！祈っていることが本当になるように信じて祈ろう！！

2017/7/19(水)

ヨハネ 5:1-18

38 年間病気で伏せていた人が、イエス様からいやしを受けた。彼は喜び、イエスのことばに聞き従う生き方をはじめた。神殿で彼と会ったイエスは、「もう罪を犯してはなりません。そうでないともっと悪い事が起こるから」と言われた。主は彼の罪を赦し、信仰へと導かれた。
けれど、それを見たユダヤ人達は、彼がいやされたことを喜ぶよりも前にイエスが安息日を守らなかったことを非難した。
神の恵みはすべてに先行する。いつも恵みをもって愛してくださる主に、従う者としてください。

2017/7/20(木)

ヨハネ 5:19-29

イエスに対するユダヤ人の敵意は増していった。だが主は真実をお語りになっただけである。今日の箇所では、イエスさまは、ご自分と父なる神が１つだと述べている。

イエスがいのちを一方的に「与えたいと思って」くださった結果として「いのち」が私たちに与えられた。私たちは不信仰を卑下する必要などはなく、神とその御子ご自身が私たちを選び、「いのち」を与えてくださった。そればかりか、イエスは、「父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました」(22 節)と言われたが、イエスに対してどのような態度をとるかが、私たちの「いのち」にとって何よりも大切なことである。

私たちのいのちは、自分で獲得したものではなく、イエスによって与えられた。
神さまの愛に感謝しよう！そして愛を流そう！！

2017/7/21(金)

ヨハネ 5:30-47

キリストが自分について証言している４つの事が書かれている。キリストがおこした奇跡は神様からの器としてではなくキリスト自身から出てきたものである事、ヨハネの証言、神様の証言、聖書が証言している事、です。
キリストとは天の御国の大使のようなものです。つまりキリストの生き方が出来ていない領域で御国の文化を拒んでいる事になります。
神様が人として来たこの愛を受け取ろう！
今日は人からの良い評価ではなく、神様からの栄誉を受けますと祈ろう！
そして今日もキリストの証人となろう！

2017/7/22(土)

ヨハネ 6:1-15

イエス様はガリラヤ湖の東岸に向かい、人々もそれについていった。その時にいたのは男の人だけで 5000 人、女の人や子どももいれたら１万人はいたと考えられる。
そんな状況での食事なんて、200 デナリ（当時の半年分以上のお給料）でも足りないし、ましてやパン５つと魚２匹で全員に配るなんて絶対不可能だと思うよね。弟子たちもそれが何になるだろうと思いながらもイエス様のところに持ってきたんだ。
でも、イエス様はそのパンを感謝してみんなに分け与えた。しかも元のパンよりもはるかに多い分が余るくらいにそのパンは増やされた。
神様は私たちがどんなに小さいと思っているカでも、ものでも、時間でも、自分自身でも、感謝して捧げる時、私たちの想像をはるかに超えて豊かに用いてくださる方なんだ。
それはみんな一人ひとりの存在も同じ。君は教会の大切ななくてはならない１人だよ！
イエス様はそんな奇跡を行いながらもあくまで主に栄光を返し、その場を退いた。
私たちも謙遜に、でも豊かに用いられることを確信して自分自身を神様の前にささげていこう！

2017/7/23(日)

ヨハネ 6:16-33

弟子たちはイエス様を残してテベリヤ湖を渡る途中で嵐に遭いました。そのとき暗闇の中をイエス様が湖の上を歩いて近づいて来ました。弟子たちはイエス様のことを幽霊だとして恐怖しました。ですが、そんな弟子たちを見てイエス様は自分がイエス様ご自身であることを宣言しました。
五千人の給食の次の日、カペナウムに向かうイエス様を群衆が追いかけて来ました。イエス様は、パンを食べて満腹したからだと、群衆の追いかけて来た動機を指摘しました。
群衆の人々は、モーセがマナによって四十年間人々を養ったことを持ち出して、しるしを要求しました。それに対してイエス様は、モーセのマナは肉体の飢えを満たす食物にすぎないと答えられ、神様が永遠のいのちを与えるまことのパンをお与えになると、お教えになりました。
損得で、物を考えやすい私をあわれんでください。